

日本保健医療行動科学会

**HEALTH BEHAVIORAL  
SCIENCE NEWS LETTER**

**第101号**

2021年3月10日発行

発行 日本保健医療行動科学会

〒631-8524 奈良市中登美ヶ丘 3-15-1 奈良学園大学内

Email: info@jahbs.info

Tel: 050-7115-5154

Web サイト: <https://www.jahbs.info/>

発行責任者 中川 晶

編集責任者 馬込武志, 吉岡隆之

## 第35回日本保健医療行動科学会学術大会 大会長挨拶

安酸 史子 (関西医科大学看護学部)

当事者性に関するテーマを第34回学術集会の梓川先生からバトンを受け取り、学術集会のメインテーマを「医療者が当事者性を持つことの意義を問う」としました。本来なら、昨年実施予定でしたが、Covid-19の影響で1年延期となり、オンラインでの実施となります。この1年で、当事者性の意味がすべての人にとって他人事ではなく、自分事になった気がします。たとえ自覚症状がなくても、自分が陽性者である可能性があることを自覚して感染予防行動を徹底する「患者役割行動」を強制的に求められました。医療者が患者に当たり前のよう求めていたことを、医療者側も突き付けられたのです。

本大会では専門家として当事者に巻き込まれることは悪なのか必然なのか、当事者性を持つ専門家とはどういうことを意味するのかについて、専門家の視点、当事者の視点、当事者を支える家族の視点などから多面的に検討していきたいと考えています。さらに巻き込まれることを推奨しすぎることの弊害などの切り口でアカデミックな視点からも当事者性を問うていく大会としていきたいと考えています。

私は個人的には医療者が患者さん(当事者)にセルフマネジメント支援をするためには、当事者に巻き込まれる勇気と覚悟を持つことが必要と考えています。当事者にしか分からないことがあることを認識し、専門職としての知識とスキルをセルフマネジメント支援のために使うコンピテンシーを高めていく必要があると考えています。

「当事者性を持つ医療者」とは、病気の当事者である医療者ということではありません。対立概念は「第三者としての医療者」です。第三者としての冷たい印象の医療者ではなく、的確な専門的な知識とスキルを持ち合わせたうえでの温かみのある当事者性を持つ医療者が増えてほしいと願っています。コロナ禍に遭遇し、当事者性を突き付けられる経験をした今だからこそ、参加される方一人一人がそれぞれの立場で、医療者が当事者性を持つことの意義について改めて考えていただけることを期待しております。

### ☆【重要】会員管理システム導入のご案内 ☆

すでにニュースレター等でご案内いたしましたとおり、会員情報のセキュリティ強化と会員のみなさまの利便性向上のため、2021年3月1日より会員管理システム「SMOOSY(委託業者:株式会社アトラス)」を導入いたしました。

新たに「会員マイページ」が利用可能となり次のことが可能になります。利用するためには初期設定が必要です。お手数をおかけしますが、会員各自で初期設定と会員情報の確認をお願いいたします。

詳しくは、本学会 Web サイト(<https://www.jahbs.info/>)をご参照ください。

「会員マイページ」でできること(いつでも自分で可能)

- ・登録情報の閲覧と変更
- ・会費納付状況の照会
- ・会費のオンライン決済(銀行振込とクレジットカード決済)
- ・会費の請求書、領収書の発行(PDFのダウンロード)
- ・会員限定情報やお知らせの閲覧

【重要なお願い】 会員管理システムの導入に伴い eメールアドレスの登録が必須となります。未だ eメールアドレスが未登録の方や変更を事務局にお知らせいただいていない方は、速やかに学会事務局にお知らせください。

## 第 35 回日本保健医療行動科学会学術大会のご案内 [2021.3.5.]

- テ ー マ 医療者が当事者性を持つことの意義を問う
- 会 期 2021 年 6 月 26 日 (土)・27 日 (日)
- 開催方法 オンラインによる開催 (Zoom によるリアルタイム配信)
- 大 会 長 安酸史子 (関西医科大学)

「当事者性に関するテーマを第 34 回学術集会から引き継ぐ。さらに本大会では専門家として巻き込まれる勇気、巻き込まれながらも戻ってくる力、巻き込まれることを推奨しすぎることの弊害などの切り口からアカデミックな視点からも当事者性を問うていく大会としていきたい。(安酸)」

※最新情報は、随時、日本保健医療行動科学会 Web サイト (<http://www.jahbs.info/>) に掲載します。

※3 月中旬までに、専用の「第 35 回大会 Web サイト」を開設予定です。

### ▼プログラム概要 (スケジュールと内容の一部が変更されました！)

#### 6 月 26 日 (土)

(午前) (拡大理事会、顧問・評議員会、総会)

基調講演「当事者性を大切にしたセルフマネジメント支援」  
安酸史子 (第 35 回学術大会長、 関西医科大学)

(午後) ワークショップ I

①「コーチングを活用したセルフマネジメント支援」 諏訪茂樹 (東京女子医科大学)

特別講演「当事者からみたセルフマネジメント支援」

武田飛呂城 (一般社団法人ピーペック理事、日本慢性疾患セルフマネジメント協会事務局長)

シンポジウム I 「当事者を支える重要他者としての専門家・家族の役割」

コーディネーター 安酸史子 (関西医科大学)、仲尾唯治 (本学会顧問、AIDS & Society 研究会議監事)

シンポジスト 家族の立場から 杉山千波 (大阪 HIV 薬害訴訟原告団理事、NPO 法人ネットワーク  
医療と人権 遺族担当相談員)

専門家 (看護師) の立場から 寺口淳子 (京都福祉サービス協会 訪問看護ステーション  
ぱあとなあず南、メモリアル・キルト・ジャパン代表、AIDS & Society 研究会議理事)

武田飛呂城氏の主治医からのビデオメッセージ 岡 慎一 (国立国際医療研究センター、センター長)

シンポジウム II 「セルフマネジメント支援における当事者性とは何か—専門家の立場から—」

コーディネーター 諏訪茂樹 (東京女子医科大学)

シンポジスト 社会福祉の領域から 梓川 一 (東大阪大学)

臨床心理の領域から 樋口倫子 (明海大学)

看護の領域から 宮本真己 (亀田医療大学)

落語公演 桂文我 師匠 「医療や病気に関する上方落語 (演目は当日のお楽しみ)」

司会 中川 晶 (京都看護大学、なかがわ中之島クリニック)

#### 6 月 27 日 (日)

(午前) 一般演題口頭発表

一般演題ポスター発表

交流集会

(午後) ワークショップ II

②「アサーションを活用したセルフマネジメント支援」 樋口倫子、林 哲也 (明海大学)

③「ナラティブを活用したセルフマネジメント支援」 中川 晶 (京都看護大学、なかがわ中之島クリニック)

④「動機付け面接を活用したセルフマネジメント支援」 瀬在 泉 (防衛医科大学校)

## ▼一般演題発表（口頭発表・ポスター発表）の募集（採択審査あり）

学術研究報告（発表）を「研究報告」とし、実践・活動等報告（発表）を「実践・活動報告」とします。「実践・活動報告」は、健康行動に関する実践・活動等について、その目的、実践・活動内容、評価（結果・成果）、課題等を発表してください。「研究報告」「実践・活動報告」とともに口頭発表あるいはポスター発表が可能です。

**口頭発表** 発表時間 15分＋質疑応答10分で、計25分です。

※当日発表時間になりましたら、オンライン（Zoom）にてパワーポイント等を画面共有しながら発表していただきます。その後、座長の進行のもと質疑応答と交流の時間を設けます。

**ポスター発表** 発表時間は7分＋質疑応答3分で、計10分です。

※発表者にはあらかじめPDF形式にてポスターデータをご提出いただき、大会開催期間中は「大会Web会場」内に掲載いたします。また当日はオンライン（Zoom）にてポスターを画面共有しながら発表していただきます。その後、座長の進行のもと質疑応答と交流の時間を設けます。

※ポスターデータ提出期限は6月上旬頃になる見込みです。ポスターデータの詳細は、別途お知らせします。

## **演題登録及び抄録原稿提出について**

演題登録と同時に抄録原稿の提出をお願いします。抄録を審査し、採択審査をいたします。審査結果は登録締め切り後1ヶ月以内に連絡する予定です。発表日程と順番は5月下旬頃までに連絡する予定です。

※発表内容は保健医療行動科学に関連する研究または健康行動に関する実践・活動等で、国内外を問わず未発表のものに限ります。

※人および動物が対象である研究の場合は、倫理的配慮について抄録の本文中に明記してください。

※一般演題の発表者は、共同発表者を含めてすべて会員である必要があります。

非会員の方は、本学会Webサイトの入会申込から入会手続きを行ってください。

（会計年度（年会費）の関係もあり、3月中の入会については、次年度（4月）入会として取り扱います。）

※抄録様式：用紙はA4サイズ1枚（本文は2段組み）です。抄録の書式と雛形は、下記の大会参加登録完了後に「第35回大会Webサイト」からダウンロードしてください。

※発表者の判断・責任において、発表者の電子メールアドレスを抄録に掲載していただくことができます。

その場合は、抄録本文の末尾に（連絡先：氏名、電子メールアドレス）のように記載してください。

**演題登録・抄録提出方法** 「第35回大会Webサイト」の「演題登録」から登録と抄録のアップロードを行ってください。IDとパスワードは下記の大会参加登録完了後にお知らせします。

**演題登録・抄録提出期間** 2021年3月15日（月）～4月4日（日）

## ▼大会参加費

**大会参加費** 会員5,000円、非会員6,000円、大学院生3,000円、学部学生2,000円

## ▼参加申し込み（登録）の方法

●下記の**参加登録**と**参加費振込**をお願いします。

**参加登録** 「第35回大会Webサイト」の参加登録画面より必要事項を登録してください。

**参加費振込** 下記のゆうちょ銀行の口座に振り込んでください。

【ゆうちょ銀行から振り込む場合】口座番号：14050-80028191 加入者名：第35回日本保健医療行動科学学会学術大会

【他の金融機関から振り込む場合】銀行名：ゆうちょ銀行 店名：四〇八（ヨンゼロハチ）種目：普通預金

口座番号：8002819 受取人名：第35回日本保健医療行動科学学会学術大会

※払い込み（振り込み）完了を持って登録となります。

※登録フォームで登録をされましても、上記期限までに払い込み（振り込み）がない場合は、登録完了となりません。

※払い込み（振り込み）手数料は申込者ご自身で負担してください。

※登録確認完了後、「大会Web会場」にアクセスするためのIDとパスワードを電子メールにてご案内いたします。

**参加登録期限** 2021年6月26日（土）15時までの参加登録・参加費振込確認分までとさせていただきます。

## ▼学習ワークショップ

**参加申込** 上記の参加申し込み（登録）の手続きを行う際に、ワークショップの参加申し込みも行ってください。各ワークショップには定員に限りがあります。定員に達し次第、受付を終了いたします。

## ▼大会事務局・問い合わせ等

第35回日本保健医療行動科学学会学術大会実行委員会事務局 担当：上山千恵子（大会事務局長）

Email: 35jahbs@gmail.com

〒573-1004 大阪府枚方市新町2丁目2番2号 関西医科大学看護学部

## 日本保健医療行動科学会雑誌「投稿論文」随時受付中

学会雑誌に掲載する投稿論文は随時受け付けています。雑誌の発行は年2回（6月・12月の予定）です。投稿原稿の種類は、原著論文、総説、研究ノート、資料、実践・活動報告（新たに追加されました）です。

※最新の「投稿規定（2019.06.22.最終改定版）」は、本学会 Web サイトの「会則・規約等」のページの「雑誌投稿規定」に掲載されていますのでご確認ください。新たに著作権譲渡同意書・誓約書の提出が必要になりました。

### ●会員勧誘のお願い●

会員の皆様には、本学会に興味や関心のありそうな方々に、本学会への入会をお勧め下さいますようお願い申し上げます。なお「日本保健医療行動科学会入会のご案内」は、学会 Web サイトからダウンロードができます。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ☆ 日本保健医療行動科学会「中川記念奨励賞」候補者ならびに「奨励研究員」の募集 ☆

### 【日本保健医療行動科学会中川記念奨励賞】

中川記念奨励賞の候補者を募集いたします。受賞年度において45歳未満の正会員で、保健医療行動科学に関する学術的研究あるいは教育を含む諸活動において、顕著な業績を上げている方が受賞の対象になります。自薦・他薦いずれでも結構ですので、奮って応募してください。応募者は、学会 Web サイトに掲載されている最新の「中川記念奨励賞内規」及び「中川記念奨励賞候補者の業績についての選考内規（2013.6.22.最終改定版）」を参照の上、履歴書及び研究業績リストを学会事務局に送付してください。2021年度受賞の応募期限は2021年3月末日です。

### 【日本保健医療行動科学会奨励研究員】

本学会では奨励研究員の制度を設けています。これは正会員で、関連分野での研究活動を行いながらも常勤の所属に恵まれない方々のために、少しでも社会的不利益を補完・救済することを目的とした制度です。この身分を希望される方は、希望の理由と履歴書及び研究業績リストを学会事務局に送付してください。奨励研究員の呼称を認められた方は「日本保健医療行動科学会奨励研究員」の身分を用いて論文の執筆や学会発表ができます。対象者の年齢制限はなく、任期は1年間とし、状況に応じて更新が可能です。審査・登録にかかる費用は無料です。応募期限は特にありません。



### 事務局便り



- 2020年度会費（2020年4月1日～2021年3月31日）及びそれ以前の会費が未納の方は、早急に「会員管理システム（第1面参照）」よりお支払いの手続きをお願いいたします（行き違いの場合はご容赦ください）。また、2021年度会費につきましても、4月1日以降できるだけ早い時期（遅くとも4月末頃まで）にお支払いの手続きをお願いいたします。ご不明な点などがございましたら事務局にご連絡ください。
- 会員管理システム導入に伴い、会費の納入は、オンラインでの銀行振込（りそな銀行宛）またはクレジットカード決済（各種）となります（基本的にこれまでのゆうちょ銀行への振込・振替は利用できません）。オンライン決済では複数年の会費を同時に決済することはできません（複数年の会費の同時決済をご希望の場合は本学会事務局にご相談ください）。詳しくは、学会 Web サイトをご参照ください。
- 2013年6月（第10期）以降の理事会議事録及びニュースレターを学会 Web サイトの会員ページに掲載しています。会員ページを閲覧するためには、ユーザー名とパスワードが必要です。
- 退会をご希望の場合は、学会 Web サイトから退会届の様式をダウンロードし、必要事項をご記入の上、PDF ファイルを e メールに添付して事務局に送付してください。

### <<編集後記>>

ご覧のとおり第101号は簡易版（4頁）でお届けしました。内容は第35回学術大会と会員管理システムの導入に関する記事に限定されています。次号は通常どおりの企画等も含めてお届けする予定です。（吉岡）